

団体及び企業の経営者・教育担当者様へ

前期／2019【公募型・いわき開催コース】 【IT活用力セミナー】受講者募集



<データを集計・分析・活用するための3コース!>

本セミナーの愛称は「基礎的ITセミナー」から「IT活用力セミナー」に変更になりました

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 福島支部
福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター
(愛称：ポリテクセンターいわき)
生産性向上人材育成支援センター
〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1
Tel. 0246-26-1231
Fax. 0246-26-1237
<http://www.3jeed.or.jp/iwaki/poly/>

公募型「IT活用力セミナー」・「生産性向上支援訓練」の申込方法・申込用紙は、ホームページのお知らせ欄をご覧ください。ご不明な点はお気軽にご連絡をお願いします。

2019前期(公募型)IT活用力セミナーをご利用ください

- (1) 自社が有する多様なデータを効率よく集計・分析・活用することは、自社の強み・弱みなどをデータ化し、経営に活かすとともに、生産性を高め、かつ、顧客への効率的な情報提供に生かせることとなります。
- (2) 普及しているIT機器はデータ処理を最も得意とする分野で、習得にそれほど困難を伴わない関連するシステムやソフトも普及をしています。
- (3) 2019前期は、複数企業から希望がありました「データの集計・分析・活用を習得する3コース」を設定いたしましたので、この機会に自社のデータの効率的な有効活用のための、知識の習得にご利用をお願いします。
- (4) 3コースの会場は、それぞれ違いますので、間違いのないようにお願いします。実施会場は以下の施設です。
 - いわきコンピュータ・カレッジ [いわき市泉町]
 - 株式会社アカデミー [いわき市中央台]
 - 飛馬オープンカレッジいわき校 [いわき市常磐西郷町]
- (5) 申込方法はお気軽にお問い合わせください。
開催日の2週間前までに申し込んでください。

受講対象者

- ① 団体・企業(事業主)からの指示により知識を習得する社員の方です。
- ② 個人の申込・受講はできません。
- ③ 訓練を実施する機関の関係会社(親会社、子会社、関連会社等)の方は受講できません。

申込方法

- ① ホームページのお知らせ欄から**申込書**を印刷し、記入の上、FAX(ポリテクセンター福島あて)でお申し込みください。
- ② 実施日の2週間前が申込締切日です。ご希望の際は早めに手続きをお願いします。申込者多数の場合は先着順となります。

令和元年8月27日(火)開催 コースNo12-B03-009 IT活用力セミナー

【表計算活用編】 効率よく分析するためのデータ集計

◆会場: いわきコンピュータ・カレッジ | 申込期限: 令和元年8月9日(金)まで
◆受講料: 2,000円(税抜)

【習得目標】表計算ソフトを活用する際、効率よく大量のデータを集計するための手法を習得します。

(自社の有する多様なデータを集計し、分析し、共有化し効率的に業務を進める際に初心者でも活用できるものが表計算ソフトです。表計算ソフトには多くの機能がありますが、本コースは効率的なデータ集計手法を習得します。)

- ◆日時 令和元年8月27日(火) 9時～16時(6時間)
- ◆定員 15名 *応募者が5名以下のときは開催を中止する場合があります。
*応募者多数の場合は先着順とします。
- ◆会場 いわきコンピュータ・カレッジ
〒971-8185 いわき市泉町4丁目13-12
- ◆講師 大越ひとみ(いわきコンピュータ・カレッジ)
- ◆内容
 - 1 データ集計
データの並び替え(昇順・降順、複数条件の組み合わせ)
集計とグループ化、アウトライン操作
フィルタによる抽出、抽出条件の設定
 - 2 データ集計に役立つ機能
集計に役立つ関数の使い方
複数のワークシート集計(3D集計)
ピボットテーブル機能によるデータ集計

表計算ソフトを用いた
データ集計手法を
習得します

- ◆使用機器・ソフトウェア
[パソコン]各自1台 [OS]Windows10
[ソフトウェア]Microsoft Office2016 Excel
- ◆テキスト
「よくわかるMicrosoft Excel 2016応用」(FOM出版)
- ◆受講にあたって
 - ① お車が便利です。駐車場を利用ください。
 - ② 昼食(12時～13時)はご持参いただくか近隣の店舗等をご利用ください。

令和元年10月10日(木)開催 コースNo12-B06-010 IT活用力セミナー

【表計算活用編】 表計算ソフトを活用した統計データ解析(1)

◆会場: 株式会社アカデミー | 申込期限: 令和元年9月26日(木)まで
◆受講料: 2,000円(税抜)

【習得目標】統計解析の概要を理解し、表計算ソフトを活用したデータの分析手法を習得します。

(自社の有する各種情報をデータベース化し、分析し、共有化し効率的に業務を進める際に初心者でも活用できるものが表計算ソフトです。表計算ソフトには多くの機能がありますが、本コースは統計データ解析の手法を習得します。)

- ◆日時 令和元年10月10日(木) 9時～16時(6時間)
- ◆定員 15名 *応募者が5名の以下ときは開催を中止する場合があります。
*応募者多数の場合は先着順とします。
- ◆会場 株式会社アカデミー
〒970-8044 いわき市中央台飯野4-2-4 いわきニュータウンビル1F
- ◆講師 遠藤慶子(株式会社アカデミー)
- ◆内容
 - 1 統計解析概要
統計解析の概要、統計データの分類、統計データの分析手順
 - 2 データ分析
度数分布とヒストグラム等について、
散布図・相関関係等について
 - 3 確率分析
確率変数と確率分布等について、母集団と標本等について

表計算ソフトを用いた
統計データ解析手法を
習得します

- ◆使用機器・ソフトウェア
[パソコン]各自1台 [OS]Windows10
[ソフトウェア]Microsoft Office365 Excel
- ◆テキスト
自作テキスト
- ◆受講にあたって
 - ① お車が便利です。駐車場を利用ください。
【駐車場はいわきニュータウンビル前の白線の引いてあるところです】
 - ② 昼食(12時～13時)はご持参いただくか近隣の店舗等をご利用ください。

令和元年10月4日(金)開催 コースNo12-B09-011 IT活用力セミナー

【データベース活用編】 大量のデータ処理に活用するデータベース(基礎編)

◆会場: 飛馬オープンカレッジいわき校 | 申込期限: 令和元年9月20日(金)まで
◆受講料: 2,000円(税抜)

【習得目標】大量のデータを処理するために必要となる情報のデータベース化を理解し、基本的なデータベース構築方法を習得します。

(自社で保有している多数のデータを効果的・効率的に利用するため、リレーショナルデータベースの、豊富なテンプレートと開発ツールの利用方法などを習得します。)

- ◆日時 令和元年10月4日(金) 9時～16時(6時間)
- ◆定員 15名 *応募者が5名以下のときは開催を中止する場合があります。
*応募者多数の場合は先着順とします。
- ◆会場 飛馬オープンカレッジいわき校
〒972-8316 いわき市常磐西郷町銭田106-26
- ◆講師 小室郁子(飛馬オープンカレッジいわき校)
- ◆内容
 - 1 データベースの概要
データベースの概念、データベースソフト(Access)の基本知識と基本操作など
 - 2 データベースの設計
データベースの設計、テーブル作成、
データインポート、リレーション
 - 3 抽出処理(クエリ)
クエリ作成、抽出条件設定、並び替え、演算フィールド作成など

データベースソフトの
活用手法を習得します

- ◆使用機器・ソフトウェア
[パソコン]各自1台 [OS]Windows10
[ソフトウェア]Microsoft Office2016 Access
- ◆テキスト
「よくわかるMicrosoft Access2016基礎」(FOM出版)
- ◆受講にあたって
 - ① お車が便利です。駐車場を利用ください。
 - ② 昼食(12時～13時)はご持参いただくか近隣の店舗等をご利用ください。

団体及び企業の経営者・教育担当者様へ

【公募型】生産性向上支援訓練

「事故をなくす安全衛生活動」受講者募集

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 福島支部
 福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター
 (愛称: ポリテクセンターいわき)
生産性向上人材育成支援センター
 〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1
 Tel. 0246-26-1231
 Fax. 0246-26-1237
<http://www.3jeed.or.jp/iwaki/poly/>

2019前期(公募型)生産性向上支援訓練をご利用ください

- ◆生産性向上支援訓練コースは本年4月現在、右表のとおり61コースがあります。今般、このコースの中から複数企業から受講希望があった「組織マネジメント分野の「事故をなくす安全衛生活動」を公募型で開催します。
- ◆安全衛生活動は、事業を営む上で、基本的かつ重要なもののひとつです。各企業におかれましては、普段から工夫をして取り組まれていると存じますが、今一度、基本を振り返り、安全衛生管理者はもとより、現場の社員の安全管理徹底のための知識習得の機会としてご利用ください。

受講対象者

- ①団体・企業(事業主)からの指示により知識を習得する社員の方です。
- ②個人の申込・受講はできません。
- ③訓練を実施する機関の関係会社(親会社、子会社、関連会社等)の方は受講できません。

申込方法

- ①ホームページのお知らせ欄から申込書を印刷し、記入の上、FAX(ポリテクセンター福島あて)でお申し込みください。
- ②実施日の2週間前が申込締切日です。ご希望の際は早めに手続きをお願いします。申込者多数の場合は先着順となります。

令和元年9月5日(木)開催

コースNo12-038-012

<生産性向上支援訓練>

「事故をなくす安全衛生活動」

■コースのねらい

職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得します。

人材育成上の課題・目標

- 効率的な安全対策を講じたい
- 社員が行う安全衛生活動を活性化したい
- 安全衛生に関する社内教育を行いたい
- 小さなトラブルが続くので不安がある
- 自社で今できることから安全対策を始めたい

課題解決・目標達成を目指して

- 安全対策の意義、労働災害による損失を知る
- 安全衛生に関する基本知識を習得する
- 自社における災害や事故のリスク分析と評価を行う
- 各種安全衛生活動の実施方法を理解する(危険予知、パトロール、チェックリスト)
- 組織的な取組み、各種点検結果のフィードバック体制を構築

- ◆日時 令和元年9月5日(木) 午前9時~午後4時(6時間)
- ◆申込期限 令和元年8月22日(木)まで
- ◆会場 ポリテクセンターいわき 本館多目的ホール
- ◆定員 20名 *応募者が10名未満の場合は開催を中止する場合があります。
*申込者多数の場合は先着順とします。
- ◆講師 村井 重雄 [(株)日本能率協会コンサルティング (品質革新センター テクニカル・チーフアドバイザー)]
- ◆内容 1 安全衛生概論
安全衛生の基本、100%の安全はいない、安全な現場は一人ひとりの意識から、安全衛生はまず心がけ、事故・災害発生への備え、事業者が講ずべき快適な職場環境の形成
2 企業における安全衛生活動
安全衛生活動の実施のポイント、5S活動、日々の安全衛生の取り組み、作業手順書の作成と遵守、安全衛生教育の実施、危険予知訓練とヒヤリ・ハット、安全パトロールの実施、改善活動、事故・災害の教訓を活かす、職場環境の改善とメンタルヘルスの向上、安全風土の醸成
3 点検による管理
安全な作業を行うための基本(安全衛生管理のPDCA)、安全衛生管理体制の自己点検(リスクアセスメント)、職場のリスクアセスメント、職場の安全衛生点検チェックリスト作成のポイント、職場の安全衛生点検の実施と改善
- ◆受講料 3,000円(税抜)

2019後期(公募型)生産性向上支援訓練の計画(予定)

- ◆現在、複数企業から管理者向け教育の希望を受けています。このため、「組織マネジメント分野の「組織力強化」コースの中から選定し公募型で開催予定です。
- ◆具体的な計画が確定次第、別途お知らせします。

公募型「IT活用セミナー」・「生産性向上支援訓練」の申込方法・申込用紙は、ホームページのお知らせ欄をご覧ください。
 ご不明な点はお気軽にご連絡をお願いします。

生産性向上支援訓練コース一覧【平成31年4月現在(61コース)】

生産管理	生産・開発計画	1	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	
		2	生産性分析と向上	
		3	生産現場の問題解決	
		工程管理	4	生産性向上のための課題とラインバランス
			5	生産計画と工程管理
	品質保証・管理	管理手法	6	サービス業におけるIE活用
			7	原価管理とコストダウン
		製品出荷・在庫管理	8	在庫管理システムの導入
			9	購買・仕入れコスト削減
			10	POSシステムの活用技術
流通・物流	流通・物流	11	品質管理基本	
		12	品質管理実践	
		13	サービスマネジメントによる品質改善と向上	
		14	3PLとSCM	
		15	物流のIT化	
		16	流通システム設計	
		17	物流システム設計	
		18	卸売業・サービス業の販売戦略	
		19	SCMの現状と将来展望	
		バックオフィス	クラウド・IoT導入	20
21	IOT活用によるビジネス展開			
22	クラウドを活用したシステム導入			
23	IOT導入に係る情報セキュリティ			
24	クラウドを活用した情報共有能力の拡充			
IT活用	25		RPAを活用した業務効率化・コスト削減	
	26		ITツールを活用した業務改善	
	財務管理		27	企業価値を上げるための財務管理
			28	IOTを活用したビジネスモデル
	29		事故をなくす安全衛生活動	
組織マネジメント	リスクマネジメント	30	個人情報保護と情報管理	
		31	リスクマネジメントによる損失防止対策	
		32	災害時のリスク管理と事業継続計画	
		33	eビジネスにおけるリーガルリスク	
	ナレッジマネジメント	34	ネット炎上時のトラブル対応	
		35	ナレッジマネジメント	
		36	知的財産権トラブルへの対応(1)	
		37	知的財産権トラブルへの対応(2)	
		38	現場社員のための組織行動力向上	
		39	業務効率向上のための時間管理	
組織力強化	40	企画力向上のための時間管理 NEW		
	41	成果を上げる業務改善		
	42	組織力強化のための管理		
	43	職場のリーダーに求められる統率力の向上 NEW		
	44	管理者のための問題解決力向上		
	45	プロジェクト管理技法の向上		
	46	プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理		
営業・販売	顧客拡大	47	提案型営業手法	
		48	提案型営業実践	
		49	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	
	顧客情報	50	統計データ解析とコンセプトメイキング	
		51	顧客分析手法	
マーケティング	顧客情報	52	顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析	
		53	実務に基づくマーケティング入門	
	概論	54	マーケティング戦略入門	
		55	マーケット情報とマーケティング計画(調査編)	
		56	マーケット情報とマーケティング計画(販売編)	
企画・価格	サービス・商品開発	57	インターネットマーケティングの活用	
		58	製品・市場戦略	
		59	新サービス・商品開発の基本プロセス	
プロモーション	販売促進	60	プロモーションとチャンネル戦略	
		61	チャンスをつかむインターネットビジネス	